

問題 次頁以下に掲げる文章は、チャールズ・テイラー著・田中智彦訳『ほんもの』という倫理——近代とその不安』（産業図書、二〇〇四年）の第一章である（脚注は省略した）。この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

問一 「魔術からの解放」（傍線①）とはどのようなことか。五行程度で説明しなさい。 【配点一五点】

問二 「道具的理性の優位」（傍線②）とはどのような現象か。五行程度で説明しなさい。 【配点一五点】

問三 著者は、「魔術からの解放」および「道具的理性の優位」によって不安がもたらされているとする。著者が述べる不安の内容を、あわせて一〇行程度で説明しなさい。 【配点三〇点】

問四 著者は、「政治的な生に対して個人主義と道具的理性がもたらす憂慮すべき帰結」（傍線③）として、二種類の政治的自由が失われるおそれについて述べている。この二種類の政治的自由の喪失とはどのようなものか。あわせて一五行程度で説明しなさい。 【配点四〇点】